

You,
Unlimited



保護者のための
就活支援ガイド

大学+保護者

就活全力サポート宣言



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

大学とご家庭が一緒になって
学生をしっかりサポートする——。

龍谷大学からのご提案です。

わが子のより良い就職のために、
保護者にできることがあります。

社会の中でどう生きていくかを考える就職活動は、
学生が本当の自立に向けて成長する良い機会です。
就職活動をするのはあくまでも学生本人。親があれこれ世話を焼き、口を出すことはありません。
だからといって、何もせずただ見守っているだけでいいかということでもありません。
お子さまのより良い就職のために保護者にもできることがあります。
このパンフレットは、保護者の皆さまの立場に立って作成しています。
本誌を参考に、ぜひご家庭でのより良い支援につなげていただければと思います。

就職を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。
私たち龍谷大学はあらゆる取り組みを通し、全力で学生の就職活動をサポートしています。
ぜひ、ご家庭でもしっかりお子さまをサポートし、
大学とともに、お子さまのより良い就職を実現させましょう。

キャリア支援の方針

本学におけるキャリア支援は、学生の社会的・職業的自立に向けて必要となる知識、能力、態度を育むとともに、学生の職業観・勤労観を醸成し、主体的な進路選択、希望する進路の実現を目的として、「キャリア教育」と「進路・就職支援」を二本柱として、全学のおよび体系的に取り組む。

「キャリア教育」は、学部と各組織が連携し、正課教育および正課外教育を通して、社会で必要となる基礎的・汎用的能力を育成するとともに、職業観・勤労観を醸成し、生涯を通じた持続的な就業力が身につくよう取り組む。

「進路・就職支援」は、学生が自立し、主体的な進路選択・就職決定ができるよう、多様な支援プログラムを実施するとともに、face to faceの面談を重視し、学生の個々の状況を踏まえたきめ細かな支援を行う。

保護者の 皆さまが できること

お子さまの就職活動に際し、保護者の皆さまができることは、
実はそれぞれのご家庭で異なるものです。
このパンフレットを参考にいただき、
学生一人ひとりの個性や就職活動スタイル、あるいは保護者との関係に応じて、
それぞれのご家庭にマッチした最適なサポート活動を実践してください。

Contents 1 就活の 「今」を知る

まずは、「今」の就職活動がどのようなものかを
正しく理解しましょう。

現代の就職活動は、保護者の皆さまの時代から様変わりしています。
お子さまに役立つサポートをするには、まず就職活動の「今」を正しく理解することが重要です。
ここでは、現代の就職事情と、それを踏まえた龍谷大学の就職支援の内容をご紹介します。

企業の採用活動の流れをつかみ、
それを踏まえた就職活動の流れや龍谷大学の
サポートについて知る。

p.3 就職活動
スケジュール × 龍谷大学の
サポート

Contents 2 子どもを サポートする

実際に、子どものためになるサポートを実践しましょう。

就職活動のサポートと言っても、何から始めればいいのかわからないものです。
そこで、サポートの参考にいただけるコンテンツを、さまざまな観点から実践的な内容でまとめました。

学生生活の過ごし方と就職の
関係性について先輩の事例から学ぶ。

p.11 先輩ケーススタディ

就活生の保護者として心構えが
できているか、セルフチェックをしてみる。

p.13 ~保護者の心構え~
就活応援チェックリスト

具体的なアドバイスを参考に
できることから始めてみる。

p.15 学生のキモチと保護者のギモン

採用する側の想いに耳を傾ける。

p.17 Talk Session
採用現場の本音を聞く

データから、就職活動の
ポイントを読み取る。

p.18 就職活動アンケート

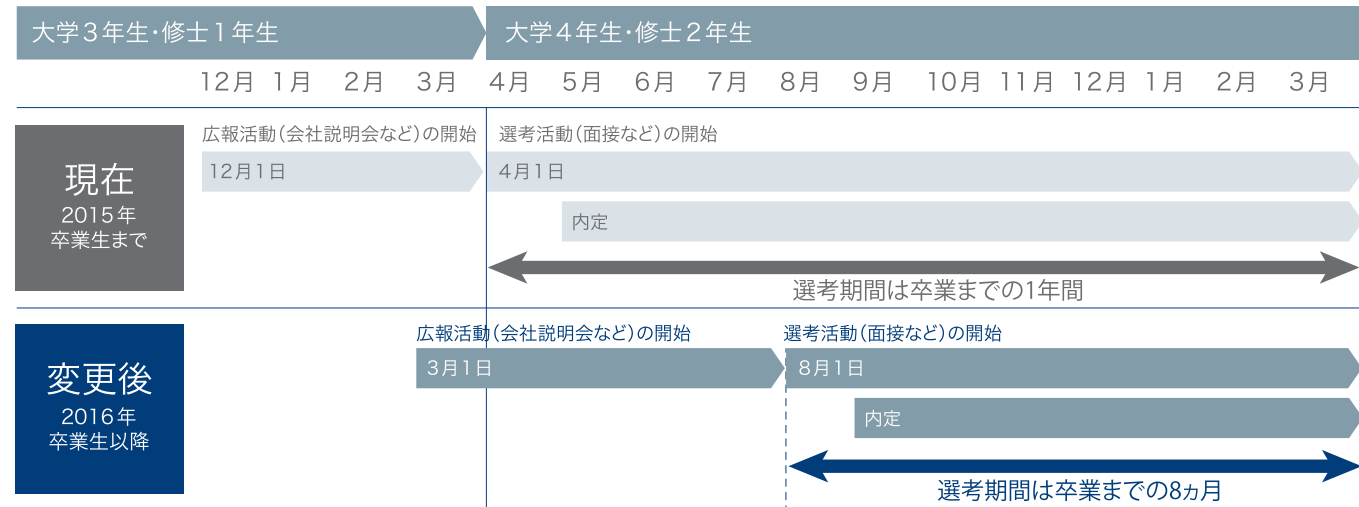
就職活動スケジュール

龍谷大学のサポート

2016年卒の就活スケジュールは、こう変わる！

3年生・修士1年生の冬に就職活動を本格開始。そんな就活のありようが、2016年卒からは様変わりしそうです。「大学生は学業を優先すべき」という政府の要請を受け、2013年9月、日本経済団体連合会は就職活動時期を繰り下げる方針を発表しました。これにより、現状では3年生・修士1年生の12月1日に会社説明会などの採用広報が開始されていますが、2016年卒業・修了予定者以降は、3年生・修士1年生の3月に

広報開始となり、採用選考開始は4年生・修士2年生の8月からスタートとなる見込みです。実際に企業各社がどのような動きをとるかは、ふたを開けてみなければわかりませんが、日本経済団体連合会が発表している「採用選考に関する指針」を踏まえた企業の動きと就職活動の動き、そして龍谷大学のサポートをまとめましたので、参考のうえ保護者の皆さまもご家庭でしっかりバックアップしてください。



※短大生の就職活動については同様の動きとなることが予想されます。

就活戦線を乗り切る 龍谷大学の就職活動サポート 3つの強み

1 キャリア支援体系に沿ったプログラム

学生が明確な職業観・勤労観を形成するための意識づけを1・2年生の段階から行います。3・4年生では実際の就職活動と連動しながら最適なタイミングでガイダンスやセミナー、説明会などを実施します。各学部にはキャリア主任(教員)を配置し、キャリアセンターと連携して、一人ひとりの学生に適した就職活動をバックアップしています。

2 充実したキャリアカウンセラー体制

企業の選考方法は、面接以外にもエントリーシートや筆記試験、グループディスカッションなど多様化しており、それぞれに応じた対策を行う必要があります。このため、各キャンパスにキャリアカウンセラーの有資格者を多数配置し、個別相談をはじめ、模擬面接や少人数ガイダンスなど、個々の学生にきめ細かな対応を行っています。キャリアカウンセラーの在籍数は、全国の大学の中でもトップクラスと自負しており、専門的な知識・能力を活かして学生支援に取り組んでいます。

3 就職対策講座・資格講座・諸課程(キャリアアップサポートシステム)

信頼と実績のある専門学校や資格試験予備校と提携し、資格試験対策をはじめ、語学能力の向上、自己能力の開発を支援する講座を開講しています。受講生の経済的負担を減らすため、受講料を安価に設定しています。また、学内で開講するため、別途学外への通学の必要がなく、時間を有効に活用できます。

龍谷大学のサポート

1年生で心がけたいこと

卒業後に向けた準備は1年生から始まっています。龍谷大学では、さまざまな資格を取得するための講座や、TOEICの点数向上のための講座などを開設しているため、積極的に受講して卒業後に備えましょう。また、公務員に関心がある方には、低年次からの公務員試験対策も準備しています。クラブ活動やボランティア活動など、団体活動を経験することも人間性を高めることにつながります。1年生から主体的に大学生活を過ごすことを心がけましょう。

？ インターンシップ(就業体験) ※主に3年生が対象ですが、低学年も参加可能

大学在学中に、企業で就業体験できる制度。主に夏休みや春休みを利用して行われ、就職活動をスタートさせる学年だけでなく、1,2年生からでも参加できるインターンシップもあります。

企業から見た	2015年卒 採用スケジュール	
	2016年卒 採用スケジュール	予測
見た 学生から	2016年卒 就職活動の流れ	予測

	1年生	2年生
龍谷大学の主な就職活動サポートメニュー(予定)	4月 龍谷大学フル活用ガイダンス 4月 自己発見レポート&フォローアップガイダンス 10月 公務員講座(スタート講座)開始 学生参加型のキャリア支援開発 カリヤサポーター	5月 2年生向けキャリアガイダンス 4月 インターンシップガイダンス

龍谷大学フル活用ガイダンス

入学後のオリエンテーション期間中のフレッシュャーズキャンプで実施します。大学生活で「打ち込めるもの」を見つけること、見つけるために「行動すること」はとても大事です。その過程で、たくさんの方を経験したり、たくさんの方と出会います。夢を見つけたり、夢への具体的な道筋が見えてきたりするはず。キャリアセンタースタッフや先輩が学生生活の過ごし方を紹介します。

自己発見レポート&フォローアップガイダンス

今の自分にどのような力があるのか、どんなことを考えているのか、何をしたいのを知り、充実した学生生活にするために、自分の強みを客観的に把握するアセスメントツールを使いながら、本来の自分像を探します。

2年生向けキャリアガイダンス

キャリア教育の一環として、卒業後の進路決定を見据え、意欲的に学習および学生生活に取り組めるようにします。1年間の大学生活を振り返り、取り組んだことや成果を整理し、今の自分がどうなのか、「なりたい自分」に近づくための道を模索します。

学生参加型のキャリア支援開発 キャリアサポーター

キャリアサポーターとは、1,2年生の学生を中心としたキャリアセンターのサポートスタッフのことです。キャリアセンター主催の行事運営(学内企業セミナーや各種就職ガイダンス)の補助や、自らが行うイベント企画等(講演会・勉強会)を通して早いうちからキャリア形成の意識を醸成します。上級生の就職活動をサポートしながら自らのキャリア観を醸成していくことを活動目的としています。

解説
就活
ワード

就職情報サイト

学生の就職活動をあらゆる面からバックアップする情報サイトです。企業情報・採用情報が掲載され、興味を持った会社へのエントリーやセミナー(説明会)予約も、サイトから行うことが可能です。

就職情報サイト プレオープン

各社の就職情報サイトが、採用情報を公開するグランドオープン前にプレオープンします。プレオープンでは、インターンシップの情報が掲載され、申し込みの窓口となるほか、業種・職種別や地域別に企業検索ができるので学生は業界・企業研究のために活用します。

筆記テスト

主に選考の初期段階で行われます。SPI3と呼ばれる適性検査や、企業が独自で作成した学力、一般常識、時事問題などを問うものがあります。企業や業界によって出題が異なるため、対策が必要です。

Webテスト

インターネットを通じてWeb上で行う入社試験です。自宅や大学、または「テストセンター」と呼ばれる試験会場で、パソコンを使用して受験します。主に基礎学力や適性が問われます。

適性検査

○×や「はい」「いいえ」などで答える職務適性の検査です。企業は適性検査によって、その人の職務上の適性傾向を把握し、企業の求める行動特性や思考特性と合致するかを判断します。

インターンシップ(就業体験)

参加することで仕事のイメージを明確にすることができ、仕事への適応力を身につける貴重な体験になります。P11には、就業体験を活用した学生のケーススタディを掲載しています。

就職活動の流れ

2年生で心がけたいこと

2年生では、まず、キャリアガイダンスで1年生の振り返りや今後の方向性を再設定します。また、キャリアサマーキャンプなど、キャリアを見つめるプログラムを活用するなどして、卒業後に向けて着実にキャリアについての考えを深めます。

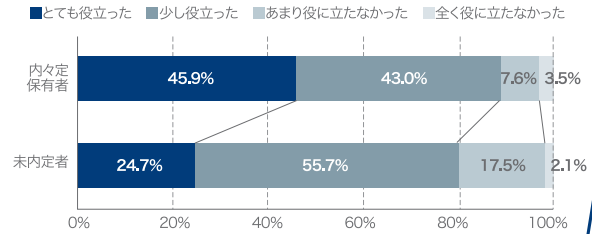
インターンシップなどは低年次でも参加が可能です。特に「龍谷大学協定型インターンシップ」は、独自の体験型インターンシップとして企業から高い評価を得ているので、ぜひ活用してください。

ゼミナール活動やクラブ活動、ボランティア活動なども利用して、同年代とは異なる人たちとの交流をはかり、自身の視野も広げていきましょう。

インターンシップ

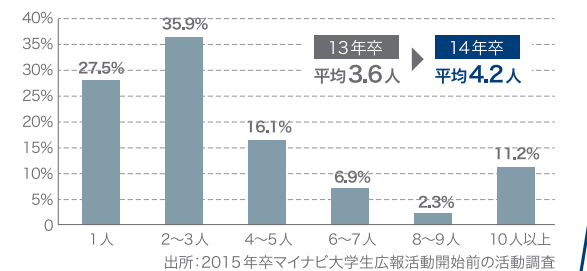
インターンシップに参加経験のある学生は32.7%。3人に1人の学生が、インターンシップ制度を利用しています。期間は1~2週間程度で行われることが多く、人気企業の場合、参加希望者に選考を設けるほど高倍率になるインターンシップもあります。インターンシップ先ではさまざまなプログラムが用意され、職場体験やグループワークなどを通じて社会人として働くことを疑似体験します。直接選考につながらないものも多いですが、さまざまな企業との出会いや経験が後に役立つため、ぜひ積極的に参加しましょう。

インターンシップは就職活動を進めていく上で役に立ったか【参考】内々定の有無



OB・OG訪問

興味のある業界や企業で働いている先輩を訪ね、実際の仕事内容、社内の雰囲気などを知る「OB・OG訪問」。インターネットで情報を得るだけでなく、実際に働いている社会人から直接、仕事の実情や本音を聞くことは非常に重要です。仕事の喜びや苦労を生の声で聞くことにより、業界・企業理解につながるだけでなく、自分の働き方について、より具体的なイメージを持つことができるでしょう。就職情報社マイナビの就活モニター調査によると、2013年卒と2014年卒で、1人あたりの訪問人数は平均3.6人から4.2人に増加。よりリアルな仕事現場を知る方法の一つとして、OB・OG訪問があります。



企業から見た	2015年卒採用スケジュール	インターンシップ	就職情報サイト プレオープン	インターンシップ
2016年卒採用スケジュール	予測	インターンシップ		インターンシップ
見学から	2016年卒就職活動の流れ	予測	インターンシップ	インターンシップ
<p>2年生 3年生(短大1年生/修士1年生) 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月</p> <p>龍谷大学の主な就職活動サポートメニュー(予定) (3年生メニューは2016年卒向け)</p> <p>8月・9月 インターンシップ</p> <p>10月 公務員講座(スタート講座)開始</p> <p>8月 キャリア・サマーキャンプ</p> <p>全体 インターンシップガイダンス</p> <p>業界・企業研究 インターンシップ</p> <p>筆記対策 公務員試験対策講座説明会</p> <p>書類対策</p> <p>面接対策</p> <p>第1回キャリアガイダンス</p> <p>公務員講座(専門・教養)開始</p> <p>第1回キャリアガイダンス(短大)</p> <p>第2回キャリアガイダンス</p> <p>就職活動内定者体験発表</p> <p>公務員講座(警察官・消防コース)開始</p> <p>筆記模擬試験(SPI3+一般常識)</p> <p>SPI3 弱点補強講座</p> <p>キャリアアプローチ 自宅受験/解説会</p>				

龍谷大学のサポート

キャリア・サマーキャンプ

低年次から他大学、他学部の学生との交流(ディスカッション等)を踏まえ、自分の将来や今後の就職活動をともにする仲間づくりを行います。『卒業後の進路』を考えたり、『他大学の学生の考え方』に触れる機会となります。



公務員講座(スタート講座)

公務員を目指す1・2年生を対象とした講座で、公務員試験に必要とされる教養試験の基礎学力とともに、3年生以降の対策にスムーズに対応できる力を養います。ここで学習する内容は、民間企業の就職試験や教員採用試験の一般教養対策にもなるため、公務員を目指す学生以外にもお勧めします。早期から重要科目を学習することによってライバルに差をつけることができ、合格への近道になります。

公務員講座(専門試験対策・教養試験対策)

国家一般職(旧国家II種)や地方上級(都道府県庁・政令指定都市)といった専門科目を必要とする職種を目指す人を対象とする講座です。また、筆記試験対策だけでなく、近年重視されている人物対策にも力を入れ、試験でしっかり自己アピールできるような徹底的な対策を実施。最終合格に向けてトータルにサポートしていきます。

海外キャリア実践実習(理工学部のみ実施)

カリフォルニア州バークレー市にある龍谷大学の海外拠点「Ryukoku University Berkeley Center (RUBeC /ルーベック)」を活用し、海外に展開する日系企業で実習を行います。これにより、海外における仕事の現場を体験しながら、グローバルな視点を身につけることができます。

龍谷大学インターンシップ・プログラム

龍谷大学ではインターンシップを学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ全学的な取り組みとして展開しています。なかでも、「協定型インターンシップ」と「短期体験型インターンシップ」は本学独自の特色ある教育プログラムです。

プログラム名称	協定型インターンシップ	短期体験型インターンシップ
実習期間	原則、2週間~1カ月程度	1週間~1カ月程度
実習時期	夏期休暇中	
主な実習先(2013年度実績)(50音順・抜粋)	株式会社イトーキ/加藤産業株式会社/京都中央信用金庫/東近江市役所/学校法人平安学園/龍谷大学付属平安中学・高等学校/ヤマト運輸株式会社/株式会社読売新聞大阪本社	SMBC日興証券株式会社/小川珈琲株式会社/共同印刷株式会社/湖南広域消防局/株式会社JT B西日本/湘南大板株式会社/三井住友海上火災保険株式会社
事前・事後学習プログラム内容	専任教員がゼミ・演習のように責任を持って運営しています。グループワークを重視し、自己分析や業界研究、職業観や将来設計などを議論し意識を高めたうえで実習に参加することで、「社会人基礎力」に代表されるような、社会で求められる様々な能力が身につくプログラムとなっています。	ビジネスマナーや職業観等を学修します。「協定型インターンシップ」と比較すると事前学習と実習期間が短く、アルバイトやサークル活動で多忙な学生も参加することができます。

第1回キャリアガイダンス

就職活動が本格化する秋までにやるべきことを詳しくガイダンスします。夏休みから後期までの期間に何をしておくべきか、例年、「就職活動前」に持ってきたい働く意識や「就職活動の筆記試験とは」といったテーマを掲げ、3年生に考えてもらう機会を提供します。

第2回キャリアガイダンス-飛翔祭-

就職活動を始めるにあたって、企業、内定者の視点も取り入れながら、今後の自身の就職活動をどうやっていくべきか伝えます。例年、就職活動のスケジュール、筆記試験対策、自己分析、業界・企業研究、面接対策等、キャリアセンターで主催する今後のイベントスケジュール、龍谷大学就職情報支援サイト「龍ナビ」の使用法についても詳細に説明していきます。また、ガイダンス当日には、キャリアセンターが独自に作成する『就職活動ハンドブック』も配付します。

公務員講座(警察官・消防コース)

本講座では、まずスタート講座を受講していただき、警察官・消防官試験に向けて基礎を学習します。スタート講座終了後は、警察官・消防官で出題される最重要科目に絞った問題演習を行うことで、効率よく学習していきます。また、筆記試験対策だけでなく、近年重視されている人物対策にも力を入れ、試験でしっかり自己アピールできるような徹底的な対策を実施。最終合格に向けてトータルにサポートしていきます。 ※消防、上級職を目指す方は、教養試験対策コースをお勧めします。

筆記試験対策

選考において筆記試験は避けては通れません。志望度が高い企業でも筆記試験を突破できなければ面接にすら進めません。そのため、早い段階でどのようなものかを知り、対策を講じておく必要があります。筆記模擬試験を実施するとともにフォローアップとして弱点補強講座を開設しています。

解説
就活
ワード

就職活動の流れ

? 自己分析

経験を振り返り、自分の特徴や価値観を理解する作業です。「どんな仕事がしたいか」「どんな仕事が自分に向いているか」を認識・理解する手助けとなり、面接で重要となる自己アピールに役立ちます。

? Uターン・Iターン

進学で出身地を離れた学生が、地元に戻って働きたいと地方で就職活動を行うのがUターン就職です。一方、出身地に関係なく地方企業への就職を希望することを、Iターン就職といいます。

? 業界研究・企業研究

就職活動で自分が興味を持った業界や企業について調べること。エントリーシートや面接では志望理由を尋ねられることが多く、それに対応するために、業界・企業研究はしっかり行っておくべきです。

? OB・OG訪問

サークルやゼミの先輩など、企業で働く社会人を訪問して社風や仕事内容について聞くことを、OB・OG訪問といいます。OB・OG訪問手順は大学のキャリアセンターでお伝えしています。

? エントリー

その企業に興味があるという、学生側の意思表示がエントリーです。エントリーの方法は、自分の情報を送るだけの場合もあれば、自己PRや志望動機、アンケートなどを記入した*エントリーシートを提出することを求める企業もあります。
*エントリーシートについてはP9をご参照ください。

? 採用選考に関する指針

日本経済団体連合会が決定した企業の採用選考に関する行動指針。2013年9月に経団連が公表した「採用選考に関する指針」では、2014年度3年生への採用活動は、4年生になってからと見直されました。昨年までは「倫理憲章」と呼んでいました。

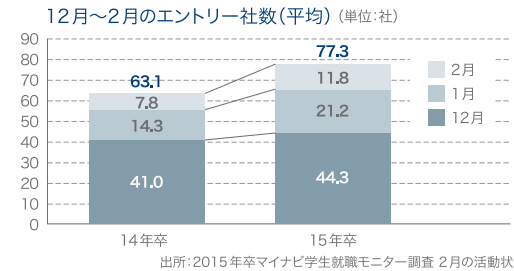
就職情報サイト

就職情報会社が、「～ナビ」と呼ばれる就職情報サイトを運営しています。現在では、就職情報サイトに絞って求人情報を出す企業も多く、ほとんどの学生は就職活動で、サイトに会員登録することが常識になっています。企業研究に活用するだけでなく、企業の合同説明会の案内や就職活動におけるさまざまな情報が掲載されており、学生にとって就職活動のベースになっています。まずはいくつかの就職情報サイトに会員登録を行い、さまざまな機能を活用しながら、就職活動を進めていきます。前ページのプレオープンと異なり、採用情報を公開することを「就職情報サイトのグランドオープン」と呼びます。



エントリー

就職情報サイトなどのインターネットを通じて資料請求を行う「エントリー」。エントリーすることによって、「貴社に興味があります」「貴社の情報を希望します」といった意思表示を企業に行います。マイナビの調査によると、エントリーの中心時期である12月～2月の3カ月間における学生1人あたりの平均エントリー社数は、2014年卒の63.1社から、2015年卒では77.3社と大きく増加しました。やみくもにエントリーするのも考えものですが、就職活動が進むにつれ、手持ちのカードがなくなっていくことがないよう、少しでも関心のある企業にはエントリーしておくことが大切と言えます。



説明会

会社説明会は企業セミナーとも呼ばれ、開催形式として企業が単独開催する説明会、就職情報会社などが主催の複数の企業が参加する合同企業説明会、大学主催の学内企業説明会があります。会社説明会では、企業の事業内容や仕事内容、求める人材像などが説明され、社員との質疑応答の時間が設けられています。学生が企業の採用担当者や社員と直接話をして情報収集できるとともに、志望企業に自分を印象づけることができる機会でもあります。

自社説明会(個別企業セミナー)

企業が単独で行う会社説明会です。会社説明会に参加しないと選考に進めない企業もあります。人気企業は、会社説明会の予約が短時間で埋まってしまうことが多く、学生は志望企業の会社説明会の受付日を事前にチェックしておくことが大切です。また、会社説明会の当日に、エントリーシートの記入や筆記試験が行われることもあります。

合同企業説明会(合説)

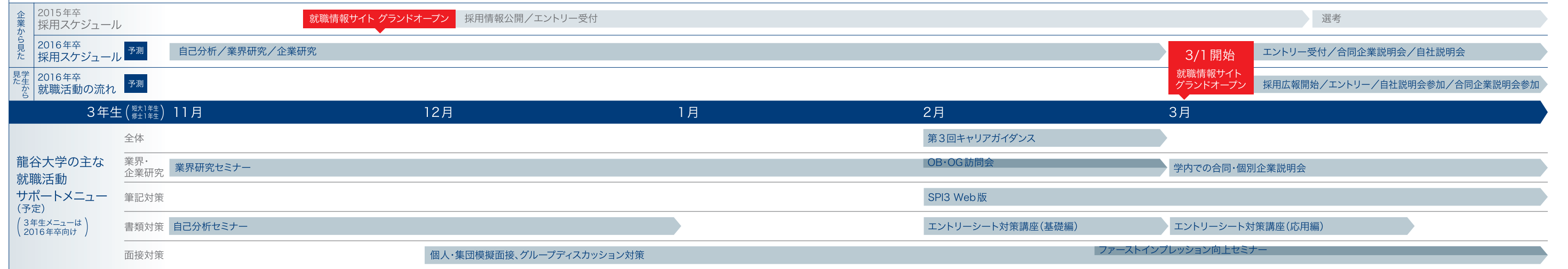
就職情報会社や自治体などが主催する、合同の企業説明会です。企業はブースごとに分かれ、そこで個別の会社説明が行われます。合同説明会のメリットは、一度に多くの企業を回れ、業界や企業を比較しやすいことです。結果、就職に関する視野も広がります。学生が就職活動をより効率よく進められるよう、識者の講演や就職コンサルタントによる就活相談コーナーなどが設けられていることもあります。

大学や就職情報会社主催の合同企業説明会への参加

15年卒
90.6%

14年卒
89.3%

出所: 2015年卒マイナビ学生就職モニター調査より(マイナビ)



龍谷大学のサポート

龍大就職ナビ「龍ナビ」

龍ナビでは「龍谷大学の学生を採用したい!」という企業から送付された1万件近くの求人票を掲載しています。また、キャリアセンターには企業の人事担当者が、日々、来訪されており、対応したキャリアセンタースタッフが知り得た情報を、「口コミ情報」として掲載しています。秋から増えるキャリアセンターの主なイベントも龍ナビで確認できます。



U・Iターン就職支援について

龍谷大学では地域経済を支える人材の育成・確保に向けて、中国地方3県(鳥取県、島根県、広島県)、四国地方4県(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)、中部地方1県(長野県)との間で、就職に関する協定を締結しています。地元県出身者のUターンを中心に、他県出身者のIターンのニーズにも応えるべく、地元企業の情報や地元での合同企業説明会のイベント情報など、学生と保護者に向けてタイムリーに情報を提供しています。また、学内での合同企業説明会に各県企業を招いたり、U・Iターン相談会を開催したりするといったU・Iターンの就職支援を行っています。

業界研究セミナー

業界に精通した人物・団体による講演会です。職種・業界研究セミナーを通して、自身の興味・関心のある業界について理解を深めます。どのような企業があるのか、そして関連する業界とはどのような業界なのかを理解し、数多くの企業から、自分に合った企業を見出すことができます。

個人・集団模擬面接、グループディスカッション対策

集団面接、個人面接やグループディスカッションを実践形式で経験することにより、自身のスキルアップを目指します。また、個人の進捗状況に応じた時期に多種類のセミナーを開催していますので、状況に合わせたものに参加することができます。少人数開催であるため、同じ就職活動生の状況を把握するとともに、自身のおかれている状況把握もでき、さらに個々人へのフィードバックもしっかり受けることができます。

学内OB・OG訪問会(卒業生との勉強会)

社会に出てさまざまな分野で活躍している本学のOB・OGを学内に招き、気軽に「働く現場」の声が聞ける機会を設け、在学生のキャリア意識を高めます。本学の卒業生という身近な存在の社会人の話を聞くことで、モチベーションの向上、視野の拡大につながります。また、インターネットや資料には記載されていないことや、小さな疑問などにも、先輩方が快く答えてくれます。

エントリーシート対策講座

エントリーシートの書き方を学びます。自分の特長(強み)、大学時代に最も成長したと言えること、自分の興味・関心(趣味・特技)、大学生活において挑戦(達成)したこと、研究課題または興味のある科目、といった項目を考え文章にすることで、どのようなエントリーシートにも対応できるようになります。なかなか文章が書けない学生にも、ガイダンスにおいては「書き方のポイント」をお伝えします。

ファーストインプレッション向上セミナー

第一印象(ファーストインプレッション)は、就職活動においてとても重要となります。会社訪問や面接などの就職活動時だけでなく、社会人として必要とされる基本的なマナーを学ぶことで、面接時における第一印象を向上させることを目的としたセミナーです。

学内での合同・個別企業説明会

学内に多数の企業を招き、直接人事担当者と話しながら、資料やホームページでは理解できない質問などをすることができます。初めのうち(3月上旬)は知名度の高い企業を中心とした「企業研究会」、3月中旬ごろには龍谷大学生を積極的に採用する企業の説明会、4年生以降は内定獲得につながるための学内合同企業説明会を随時実施します。

第3回キャリアガイダンス-就活開幕祭-

就職活動開始直前ガイダンスとして、実践的にどう動くべきか、「動く」とはどういうことか。これからの就職活動でやるべきこと、就職活動の進め方を改めて伝えていきます。



解説
就活
ワード

就職活動の流れ

? エントリーシート

多くの企業が、選考の一つの方法としてエントリーシート(ES)の提出を求めます。ESで重要なのは、自己PRと志望動機の欄。記入に労力がかかりますが、決して手を抜かないことが大切です。

? グループディスカッション

学生を数人のグループに分け、テーマを与えて討論させ、チームとしての結論を出させる選考方法です。面接官が見極めているのは、各人のキャラクター全般。自分らに対する対応が求められます。

? 内定

経団連の「採用選考に関する指針」では、正式な内定日を「卒業・修了年度の10月1日以降とする」と記されています。内定日までの期間を「内々定」としている企業もあります。

? 内定承諾書

内定承諾書とは、書面で内定の承諾(入社の意思)を確認するものです。複数社より内定を獲得した場合、入社する気持ちがないのであれば、その旨をすぐに申し出るようにしましょう。

? 内定辞退・取り消し

複数の企業から内定を得て、本命の企業以外の内定を辞退することを内定辞退といいます。また、内定を出して採用を約束したにもかかわらず、企業がこれを破棄した場合を内定取り消しといいます。

エントリーシート

最近ではほとんどの企業が採用手法として導入している「エントリーシート」。氏名や住所といった情報に加え、自己PRや志望動機、学生時代に打ち込んだことなど、しっかりと企業研究や自己分析を行わないと記入できない項目があることが特徴です。企業では一次の書類選考として、さらには面接時の参考資料として使われることが多く、学生にとってエントリーシートの作成は、就職活動における重要な課題となっています。企業はエントリーシートを通して、その学生の長所や短所に加え、業界・企業の理解度、何ができるのか、何がしたいのか、を見極めます。マニュアル本の模範解答を丸写しするのではなく、自分の言葉で自分らしさをアピールすることが大切です。

Q1 あなたの「短所や弱み」は何ですか? またどのように対処していますか?

Q2 あなたの「強みや自信のあるもの」は何ですか?

Q3 あなたが学生時代に特に力を入れたことは何ですか?

Q4 あなたが当社を志望する理由を教えてください。

Q5 あなた自身を動物にたとえて表現してください。(例:私は○○です。) また選んだ理由を教えてください。

学号	氏名	学部	学年
12345678	山田 太郎	工学部	4年

エントリーシートの一例

選考(筆記、面接)

選考においては通常、筆記試験が行われます。その内容も基礎的な学力問題や時事問題、一般常識など実にさまざま。現在では、多くの企業が能力検査と性格検査を利用しています。受験スタイルもマークシート方式、パソコンで回答するWEBテスト、試験会場のパソコン上で受験するテストセンター方式など、多様化しています。事前に問題集を用いて対策を行うなど、慣れておくことが大切です。また、面接の方法も個人面接だけでなく、集団面接、グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなどさまざまな形式で行われています。しっかり自分をアピールできるようコミュニケーション力を高めておきましょう。

筆記適性検査

適性検査や能力検査を導入している企業は全体の6割にのぼります。適性検査は、能力適性とともに関係性も実施されています。国語・英語の単語・長文を中心とした「言語」と、数学・理科の「非言語」からの出題があり、いずれも難易度は中学・高校レベルです。問題数が多いので、時間配分と正確性が重要となります。多くの企業では、一定の得点を得ることが次の面接等の選考への条件となります。

個人面接

採用試験において最も重視されるのは、やはり個人面接です。面接は、一般的に3~5回程度行われます。一次面接は、人事部門や他部門の課長代理や係長など、比較的若手の社員が面接官を務めることが多いです。一次や二次の面接では企業に対する志望度の高さや、個人の能力、社員として一緒に働けるかなどを中心に選考されます。面接が進むにつれ、質問内容も変化してくるので、臨機応変な対応が求められます。最終面接は、社長・役員クラスの面接で、会社に入ってどのように働きたいかといった意欲を中心に人物を評価する面接になります。

内定

企業が学生に対して「採用したい」という意思表示をする「内定」。「内々定」という言い方をする企業もあります。内定とは、就職活動のゴールでもあり、将来に向けた新しいスタートでもあります。就職活動をしていると、ついつい目先の内定を取ることが目的になりがちですが、「自分が将来動きがいをもって動めることができる就職先と出会う」という意識で、最後まで納得のいく活動をするのが大切です。

企業から見た	2015年卒採用スケジュール	2016年卒採用スケジュール	2016年卒就職活動の流れ	2016年卒就職活動の流れ									
企業から見た	内々定	エントリーシート受付/会社説明会開催	エントリーシート提出/会社説明会参加	申し込み受付									
学生から見た				一次試験									
				二次試験									
				合格発表									
				※この流れについては変更の可能性があります。									
	4年生(初大2年生/修士2年生)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
龍谷大学の主な就職活動	全体	業界・企業研究	学内での合同・個別企業説明会、就職支援プログラム	筆記対策	SPI3 Web版	書類対策	面接対策	個人・集団模擬面接、グループディスカッション対策					
サポートメニュー(予定)(2016年卒向け)													

龍谷大学のサポート

学内合同企業説明会

※2016年卒は開催時期が変更の可能性があります。

例年、4年生を対象に5月と7月に学内合同企業説明会を開催しています。学内に多数の企業を招き、直接人事担当者と話しながら資料やホームページでは理解できない質問などをすることができます。龍谷大学生をぜひ欲しいと思っている企業、追加で募集を考えている企業など、多くの企業が出席されます。



就職支援プログラムの充実

※2016年卒は開催時期が変更の可能性があります。

例年、学生へのアンケート結果から課題を抽出し、対象学生毎の、課題や就職状況の進捗に応じたガイダンスやセミナーを実施しています。

セミナー実施例 ※2013年度開催実績

- 5月 これからの業界・企業研究-中堅・中小企業の見方・探し方・選び方
- 5月 まだまだ間に合う就活セミナー
- 5月 企業発見&学内合説の回り方セミナー
- 6月 モチベーションアップと社会人に向けての意識改革
- 7月 自分の見せ方・伝え方
- 7月 企業研究の重要性
- 7月 採用担当者の目線
- 7月 総仕上げチェック(模擬面接)
- 8月~9月 就活支援リスタートセミナー -就活しゃべり場-
- 10月以降は外部機関(ハローワーク等)を活用して、求人紹介セミナー等を随時開催

卒業生支援について

■ 卒業生を担当するカウンセラーが常駐

卒業生キャリア支援に特化したカウンセラーが相談に応じます。これまでの就職活動の問題点を見つけ、今後の課題についてともに考えながら、内定まで親身にフォローします。

■ 卒業後も多くの求人を紹介

卒業後に改めて利用登録を行うことで、就職情報システム「龍ナビ」を利用できます。龍谷大学で公開している求人情報(龍大就職ナビで閲覧できる情報)が利用可能で、卒業後1~5年程度の方(第二新卒)を対象としたものが主となります。



■ これまでに開催されたイベント

【龍谷大学卒業生就職支援セミナー】

龍谷大学卒業生就職支援の概要説明やモチベーションアップセミナー、その他面接対策講座やグループワークを実施しています。

【龍谷大学既卒生向け合同企業説明会】

本学卒業生対象に、優良企業を誘致して合同企業説明会を実施しています。本学卒業生を積極採用したい企業が毎回約5~8社参加します。

Case Study

先輩 ケーススタディ

就職活動は4年生から？

いいえ、広い意味ではもう1年生、2年生から

始まっているのです。

実際に就職活動が本番を迎えるまでに、

どんな学生生活を過ごしてきたのか？

それによって、就職活動の内容がガラッと変わります。


ここでは、4人の先輩学生のケーススタディを掲載。

学生生活の過ごし方が将来と

どうつながっていったのかを紹介します。

Case.1
インターン
シップに力を入れた

宮本 佳奈さんの場合
法学部 政治学科
内定先/オリエンタルモーター株式会社




<p>2年生の5月</p> <p>キャリアサポーターに加入</p> <p>企業の説明会に参加したり、人事の方とお話したりする中で、就職について学べるのではと考え加入しました。社会人の方と接することで視野が広がり、ビジネスマナーやイベントの運営についても学べました。</p>	<p>3年生の8月</p> <p>大学の協定型インターンシップに参加 (実習先:大塚商会)</p> <p>なりたい職業が見つからず、働くイメージがつかめなかったため、参加を決めました。実習先では自分の視野の狭さや思い込みに気づくとともに、働く方々から仕事に対する姿勢や誇りを感じ取ることができました。</p>	<p>3年生の8月</p> <p>自己応募のインターンシップに参加 (実習先:鳥取県関西本部)</p> <p>実習先の仕事について、どのようなことをしているのか興味がわき、参加しました。協定型インターンシップと同じく、視野が広がりました。また、それぞれの仕事内容などの違いについて比較することもできました。</p>	<p>3年生の11月</p> <p>インターンシップの成果発表会に参加</p> <p>大学の協定型インターンシップの成果発表会に参加し、企業の方の前でプレゼンテーションを行いました。これまで大勢の前で発表する機会があまりなかったため、とても良い経験になりました。</p>	<p>3年生の10月~4年生の5月</p> <p>就職活動を行う</p> <p>インターンシップを経験したことで、企業の説明会では仕事内容などのイメージがわかりやすかったです。また、面接もあまり緊張することなく話すことができました。視野を広く持てたことが、内定につながったと思います。</p>
---	---	--	--	---

※キャリアサポーターについてはP4をCheck!

Case.2
ゼミに力を入れた


植田 凌矢さんの場合
経営学部 経営学科
内定先/大和ハウス工業株式会社



<p>2年生の9月~10月</p> <p>マーケティングリサーチゼミに参加</p> <p>マーケティングの授業を受けたことをきっかけに興味を持ち、マーケティングリサーチゼミに入りました。初めてのグループワークでリーダーに挑戦。リーダーの難しさを学ぶことができました。</p>	<p>2年生の12月</p> <p>7大学との合同ゼミ合宿</p> <p>7大学の学生が集まって行う合同ゼミ合宿に参加。体調を崩してしまい、発表者としての役割を果たせませんでした。ゼミ全体で初めて一つのプロジェクトを完成。他大学との交流は新たな刺激となりました。</p>	<p>2年生の1月~3年生の6月</p> <p>企業参加型のプロジェクトに関わる</p> <p>前回のグループワークに続き、リーダーに挑戦。企業からの課題を解決するために、グループ一丸となって取り組みました。前回の反省を踏まえて、グループをまとめ上げるしっかりしたリーダーを目指しました。</p>	<p>3年生の4月~</p> <p>ゼミ長に就任</p> <p>ゼミ長に選ばれ、初めての経験で不安もありましたが受任を決意。メンバーの支えもあって、何とかすべてに取り組むことができました。皆に感謝する気持ちが芽生え、リーダーとして成長できたことを実感しました。</p>	<p>3年生の11月~4年生の5月</p> <p>就職活動を行う</p> <p>採用選考を30~40社ほど受けましたが、そのすべてにおいて、今までの人生でいかに自分が挑戦してきたかをアピールしました。ゼミ活動での新しい挑戦と成長が、就職活動の大きな支えになりました。</p>
--	--	---	---	--

Case.3
ボランティアに力を入れた

飯沼 小百合さんの場合
社会学部 社会学科
内定先/大阪市役所




<p>1年生の3月</p> <p>大阪で募金活動を行う</p> <p>東日本大震災の募金活動を大阪のJR天王寺駅前でも何度も行いました。募金活動の経験は一切なかったので、問題は山積みでした。時には公衆の面前で怒鳴られたことも。学ぶことの多い毎日でした。</p>	<p>2年生の5月~7月</p> <p>プロジェクトの企画を実行</p> <p>東北にメッセージ入りのうちわを送るプロジェクトを立ち上げました。うちわの資金集めから発注、メッセージを集める段取りまですべて自分たちで実施。企画者としてボランティアに参加する貴重な経験でした。</p>	<p>2年生の5月~8月</p> <p>岩手県で災害ボランティア活動</p> <p>被災地の視察に行き、改めて支援を急がなければと決意。夏に釜石市でボランティア活動を行いました。自分の無力さを痛感しましたが、現地で活動することの大切さを見出しました。仲間との交流も有意義でした。</p>	<p>2年生の5月~8月</p> <p>宮城県で災害ボランティア活動</p> <p>宮城県で災害ボランティア活動をしました。これまでの災害ボランティア体験を通じて感じたことを、学内広報パンフレットに執筆。考えるだけでなく、相手に伝えることの重要性を学ぶことができました。</p>	<p>3年生の4月~4年生の8月</p> <p>公務員講座を選択し、公務員試験を受験</p> <p>災害ボランティアで行政システムの危うさを実感。災害時に軸となって働ける公務員になりたいと考え、講座を受講しました。内定を獲得できたのは、失敗に対して逃げずに向き合ってきた姿勢が評価されたのだと思います。</p>
---	---	--	--	--

※公務員講座についてはP5,6をCheck!

Case.4
海外インターンシップに力を入れた

中野 友貴さんの場合
理工学部 数理情報学科
内定先/株式会社NTTデータ関西



<p>2年生の4月</p> <p>成績アップに励む</p> <p>海外キャリア実践実習の存在を知り、参加したいと思いました。500人以上在籍する理工学部から、海外キャリア実践実習に参加できるのは16人。優秀な成績でないと参加できないと思い、勉強に励みました。</p>	<p>3年生の4月</p> <p>英語の勉強に取り組む</p> <p>書類選考と面接を経て、海外キャリア実践実習への参加が決定。英語で2週間過ごすインターンシップ・ホームステイのため、少しでも話せるようになってから渡米しようと、英語の勉強を始めました。</p>	<p>3年生の6月</p> <p>海外キャリア実践実習の準備</p> <p>海外キャリア実践実習に向けて、毎週土曜日の3~5講時に英語やアメリカ文化などの講義を受けました。中学のころから英語が苦手でしたが、「英語が話せるようになりたい」という強い思いを持って受講しました。</p>	<p>3年生の夏休み</p> <p>海外キャリア実践実習に参加</p> <p>実習当初は英語に自信がありませんでしたが、思い切って話しかけてみると、想像以上に会話できました。この2週間苦しいことから逃げるばかりでなく、一歩踏み出せば必ず道が開けることを実感しました。</p>	<p>3年生の10月~4年生の4月</p> <p>就職活動を行う</p> <p>早い時期から学外のセミナーに参加するなど、就職活動には早めに取り組みました。実習以降、何事に対しても失敗を恐れずに挑戦できるようになったことと、実習の経験から得た自信が就職活動で役立ちました。</p>
--	---	---	--	---

※海外キャリア実践実習についてはP5をCheck!

心の準備はできていますか？

～保護者の心構え～ 就活応援チェックリスト

- A**
 - 大学で子どもが何を学んでいるか知っている
 - 子どもが所属している部やサークル、アルバイト先を知っている
 - 子どもの友人の名前を複数知っている
 - 子どもの長所・短所を理解している
 - 子どもの将来の夢や、やりたいことを知っている
- B**
 - 子どもの身の回りのことは、自分でさせている
 - 自分の子どものことを信頼している
 - 子どもの友人の就職活動状況が気にならない自信がある
 - 就職活動で最終的な決断は子どもに任せる
 - 就職後、子どもが一人暮らしをしてもかまわない
- C**
 - なるべく子どもと会話する時間を持つようにしている
 - 子どもがリラックスできる家庭環境を心がけている
 - 子どもが就職活動をする時期や進め方がある程度理解している
 - 子どもから相談を受けることがある
 - 表情や言葉遣いなどで、子どもの様子の変化がわかる
- D**
 - 地元企業に限らず、広い視野を持って就職先を選んでほしい
 - 志望するならベンチャー企業への就職もありだ
 - 企業の安定性、知名度、将来性がすべてではないと思う
 - 結婚・出産を経て働き続けるなど、女性の生き方にはいろいろな選択肢があって当然だ
 - 就職活動は自分の時代とくらべて変化していると思う
- E**
 - 就職活動が上手くいかないからといって、目標や目的がないのに留年や大学院進学に進路変更するのはよくないと思う
 - 日頃から社会や経済などに関心を持つようにしている
 - 自分の若いころの失敗体験などを子どもに話したことがある
 - 子どもと新聞やニュースについて話題にすることがある
 - 自分の仕事について子どもに話すことがある

人生の大きな節目である就職活動。お子さまが主体的に行うべき就職活動ですが、スポーツの試合でサポーターの応援がプレイヤーの大きな力となるように、保護者の支援はお子さまの就職活動の力強い手助けになります。お子さまが就職活動を迎える前に、保護者としての心構えができていないか、チェックしてみましょう。該当する箇所にチェックを入れ、その合計数を出してください。

お子さまの就職活動に対する心の準備は…

合計 個

チェックの合計数が
20～25個

心の準備は万端。
お子さまのベストな
就活サポーターになれるでしょう。

お子さまや就職活動に対する関心が高く、保護者としてお子さまが就職活動に臨むためのサポート態勢がしっかりできています。就職活動には、スーツや鞆といった身の回り品から交通費まで、何かとお金がかかります。こうした経済的な支援も念頭に置いて、引き続きサポートをお願いいたします。

チェックの合計数が
10～19個

あともう少し。
できることから始めて、
お子さまの就職活動に備えましょう。

景気回復の明るい兆しは見えているものの、依然として就職活動は厳しいものがあります。何十社と受けても、内定を獲得できないことも考えられます。そんな厳しさを理解したうえで、保護者として支援できることを考えていきましょう。一番身近な保護者だからこそ、できるサポートがあります。

チェックの合計数が
0～9個

お子さまと話す機会を設け、
お子さまと就職活動への
関心を深めましょう。

チェックの合計数が少ないとはいえ、この冊子に目を通してということは、就職活動への心の準備が始まっていると思われれます。就職活動は順風満帆に進むとは限りません。お子さまが気落ちしたときに、心の拠り所になるのは保護者だと自覚し、就職活動に備えることをお願いいたします。

就活応援チェックリスト ミニ解説コーナー

チェック項目 A の数が少ない方

お子さまへの関心が薄いようです。お子さまに就職活動に関するアドバイスをする際に、お子さまについて知っておくことが不可欠です。日頃からお子さまとのコミュニケーションを心がけ、どんなことを考え、将来どうなりたいかなどを把握しておくことをお勧めします。

チェック項目 B の数が少ない方

少し過保護な面があるのかもしれませんが、子どもの会社説明会に同伴する、子どもの代わりに企業に電話をかけるといった保護者がいらっしやるそうです。主体性のない学生を企業は敬遠します。お子さまが自分で試行錯誤しながら就職活動を行えるように、必要以上の世話は焼かないようにしましょう。

チェック項目 C の数が少ない方

項目Cでチェックするのは、就職活動のサポート態勢ができていますか。自己分析、エントリーシートの提出、筆記試験、グループディスカッション、グループワーク…。現在の就職活動において学生は多忙にならざるを得ません。温かい食事やねぎらいの言葉をかけ、お子さまがリラックスできる環境を整えてあげてください。

チェック項目 D の数が少ない方

就職活動中、学生が嫌う保護者の接し方の一つが「押しつけ」です。就職活動を昔の知識だけでとらえていませんか。有名な企業だから将来が保障されている時代ではありません。就職活動を通じてお子さまが自分の目で見て感じて、本当に働きたいと思える会社に入社できるように、ご支援をお願いいたします。

チェック項目 E の数が少ない方

大多数の学生にとって、社会人とふれあう機会はそれほど多くはありません。その中で保護者はお子さまにとって、最も身近なところにいる社会人なのです。就職活動の時期に、保護者としての立場を離れ、社会人としての目線でお子さまにアドバイスをすることも、大切になってきます。

Question

学生のキモチと保護者のギモン

学生のキモチ編

「子どもがイライラして話しかけづらい」「落ち込んでいる子どもに、どんな声をかけていいかわからない」など、就職活動中はいつもより神経質になるお子さまが少なくありません。保護者の発言や態度をどのように感じ、どう受け止めているのか、就職活動中の学生の気持ちを聞いてみました。

面接に落ちた報告をするたびに、親が浮かない顔をするので、余計に焦りやプレッシャーを感じてしまいます。(文系・男子学生)

大切なおさまの就活状況に、一喜一憂する気持ちはわかります。しかし、現在の学生が就職活動でエントリーする会社の数は、平均約80社(2014年卒マイナビ学生就職モニター調査より)に上り、5月末までに内々定を獲得した学生でも、内々定保有社数は平均1.6社に過ぎません。就職活動の時期、選考の壁に何度もはばまれることで、目を見張るような成長を遂げる学生が多くいます。おさまが成長する機会だと考え、選考が上手くいかないときでも温かい目で見守り、おらかな気持ちで接してあげてください。

想像以上に就職活動にかかる交通費が負担になっています。就職活動で忙しく、アルバイトもできません。親は何も知らないようで、言い出せずにいます。(文系・女子学生)

就職活動中、学生は会社説明会、筆記試験、一次面接、二次面接・・・と複数回、いくつもの企業を訪問します。学生が就職活動で出費する交通費・宿泊費は、月平均1万円～2万円(2014年卒マイナビ学生就職モニター調査より)。下宿生が地元に戻って就職活動をしたり、遠隔地の企業を志望したりする場合は、さらに費用がかさみます。金銭面の問題で、就職活動が滞ったり、せっかくのチャンスを逃したりすることもあります。時にはおさまに「交通費、大丈夫？」などと声をかけ、もし困っているようであれば、適度な支援をしてあげてください。

志望していた企業から内定をいただいたのですが、親から「知らない企業だけど大丈夫？」と喜んでもらえませんでした。これまでの努力が認められず、気が抜けてしまいました。(理系・男子学生)

聞いたことのないような企業を、おさまが志望しているとなると経済の先行きの見えにくい現在、多少の不安を感じる保護者もいらっしゃるでしょう。しかし、一般的に知名度は低くても優良企業であったり、今は無名でも将来性の高い企業はいくらでもあります。まずはおさまの労をねぎらい、内定獲得をともに喜ぶこと。その後、どんな会社なのかを調べるなどして、おさまとゆっくり話し合ってみてはいかがでしょうか。

親が根掘り葉掘り就職活動の状況を聞いてきたり、「この企業にエントリーしたら？」などと指図したりしてきます。「私の就職活動なのに」とイライラします。(理系・女子学生)

保護者としてはおさまの就職活動がどのような状況にあるのか知りたいのは当然です。しかし、就職活動をするのはおさまなのです。本人が意欲を持って主体的に挑まなければ、満足した結果は得られないでしょう。就職活動のスケジュールや提出物を逐一チェックする、学生の代わりに保護者が企業に問い合わせをするといった行動は、すでに成人したおさまに対して過保護ではないでしょうか。おさまの自主性を損なわないためにも、その意思や行動を理解して尊重してあげてください。

保護者のギモン編

就職活動は保護者世代のものとは大きく様変わりしています。保護者懇談会において、就職に関するさまざまなご質問が寄せられることから、保護者の方の関心の高さがうかがえます。そこで保護者の皆さまからよくお受けする質問を中心に、現在の就職活動をわかりやすく解説してみました。

Q 就職に有利な資格はありますか？

A 資格を持っていることが、選考において絶対に有利というわけではありません。もちろん希望する業界・職種に必要な資格であれば、有利に働くでしょう。資格そのものが優先されるより、資格取得に向けて努力した姿勢が問われることが多いようです。ただ近年、多くの企業がグローバル化を推進しており、即戦力のある「グローバル人材」が求められる傾向があります。エントリーシートや履歴書提出時にTOEICなどの英語のスコアを求められたり、筆記試験で英語の問題を出題したりする企業も増加しています。英語力を身につけておくと、企業選びの幅もぐっと広がるでしょう。

Q 大学の成績は、採用選考に影響しますか？

A 多くの企業が独自の筆記試験や適性試験などを実施し、学生の学力・能力・適性を見極め、採用選考の判断材料としています。このため、大学の成績は採用選考に影響しないように思えますが、やはり採用基準の一つにはなると考えていいでしょう。また近年、一部の企業を中心に、大学の成績を重視するという動きも出てきています。学生の本分は「学業」です。学業にしっかり取り組んだ姿勢が、「仕事もできる人間だ」と企業側から判断されます。採用選考も念頭に置いて、学業を疎かにしないよう、おさまにお声がけください。

Q 子どもが希望する企業から内定が得られず、フリーターになると言っています。

A 何か目的があって、それまでフリーターという働き方を選択するのは悪いことではないと思います。しかし、「内定がもらえないから」という理由でフリーターになるのは決してお勧めできません。正社員に比べて、フリーターの生涯賃金は3分の1といわれています。また、医療保険や雇用保険、年金といった社会保障制度の面でも、正社員とフリーターでは格差があります。このようなフリーターのリスクをふまえて、もう一度あせらず、じっくりと企業探しをするようにおさまにアドバイスされてはいかがでしょうか。

Q いつも最終面接で落ちている様子で心配です。どうすればよいのでしょうか。

A いくつもの企業で最終面接まで進むのは、採用側の目を通しておさまがある一定の評価を得ていると考えていいでしょう。しかし、最後の決め手となる何か足りないのだと思います。それが何であるのか、おさまが自分やこれまでの就職活動を振り返ってみる時期なのかもしれません。企業は、主体性のある人材、熱意や意欲の高い人材を求める傾向があります。そういった点もふまえて、おさまに適切なアドバイスをしてあげてください。さらにおさまが「よし、また就活がんばろう」と気持ちをリフレッシュできるご家庭の雰囲気づくりにもご配慮ください。





グローバルマインドと「とがり」をもった人財であるか。

伊勢戸●部署名に「グローバル」を掲げていらっしゃいますが。
 久田●オムロンはグローバル化を長期経営ビジョンに掲げ、その推進に取り組んでいます。お客さまや競合企業、一緒に働く仲間もグローバルになっている現在、社員一人ひとりがグローバルなマインドを持って事業を展開していくことが求められています。

伊勢戸●グローバルマインドを持った人財とは？
 久田●ダイバーシティ、多様性を認め合える人です。自分とは異なる文化や価値観をお互い認め合い、尊重しながら新しい答えを見つけていく。そんな気持ちを持って行動できる人財だと思っています。

伊勢戸●多様性を認め合うというあたりは、本学が大切にしている「共生(ともいき)の精神」につながると感じています。

久田●なるほど。私たちが求めているのは、新しい価値です。かつてのように、既存価値を生むものを効率的につくっていけばいいという時代ではなくなりました。当社の企業理念のひとつに「ソーシャルニーズの創造」を掲げていますが、これからの社会のニーズを、自分たちで生み出していかなければならないのです。多様な人財のそれぞれ違った考え方がぶつかるからこそ、新たな価値が創造できるわけです。それらを踏まえて、採用面接では学生時代の経験をお聞きしています。さまざまな考え方や意見を持った人とぶつかり合いながら、何かを成し遂げてきた経験はありますか？と。

伊勢戸●採用面接のお話が出ましたが、多くの採用に関わってこられたご経験から、学生が面接に臨むときのアドバイスをいただけますか。

久田●当社には、人財に関して「とがりつなぎ」というキーワードがあります。とがりとは、個々人が持っている特性や専門能力の強さであり、さまざまなとがりをもった人間が集まってチームとしてつながり合うことによって、力を最大限に発揮しようという考えです。それぞれの人がどんなとがりを持って、人に負けないキラリと光るものがどこにあるか。面接官はそこを見ている。自分のとがり何かを認識し、「それをこの企業で活かすのだ」という思いを持って面接に臨まれるのがいいのではないのでしょうか。



オムロン株式会社

多くの情報から必要なものを選び出し、価値ある情報に変換する独自の「センシング&コントロール技術」を強みとし、産業、社会、健康、環境の4つの分野で事業を展開。高度化する製造現場では、モノづくりの革新をリードし、駅では世界で初めて自動券売機と自動改札機によるシステムを実用化。交通渋滞の混雑を最小化する交通管制システムや、病院、家庭向け血圧計など、社会のニーズをいち早く感知し、解決する技術・製品・サービスを提供している。

身近なコミュニティに留まらず、外の世界でいろいろな経験を積んでほしい。



伊勢戸●このところ、企業が学生の成績を重視するといった動きがありますが、それについてどうお考えですか。

久田●これは私個人の意見ですが、日本の学生さんはもっと「学ぶ」ということを大切にすべきだと思います。今後、海外のさまざまな人財とともに仕事をするという流れはさらに加速するでしょう。世界で競争力ある人財になるためには、文系・理系を問わず、自分の専門性で世界の学生さんと渡り合える力を養いたいものですね。

伊勢戸●2016年の採用は、現状より短期決戦になってくるようですが。
 久田●就職活動は決まった時期からスタートしますが、学生の皆さんは、もう少し早い段階から社会を知る、仕事を知ることではできないのでは。インターンシップなどの機会も大切ですが、早い時期から人や実社会と関わることを心がけて、就職活動に臨んでいただければと思います。

伊勢戸●では、学生時代に経験してほしいことは？

久田●とにかく外に出てほしいです。日本を出て海外に行くこともそうですし、居心地のいい自分のグループから外に出てみる。内向きから外向きへ。実社会を見て、いろいろな人と議論して、社会で自分がどういう人間でありたいか、自分をどう変えていきたいかという志を育てていただきたいと思います。与えられるのではなく、自ら開拓して、さまざまな経験を積み重ね、たくましさ、貪欲さを養ってほしい。いろいろな成功や失敗をして、自分のスタイルを確立していく、学生時代にそんな生きた学びをしていただきたいですね。

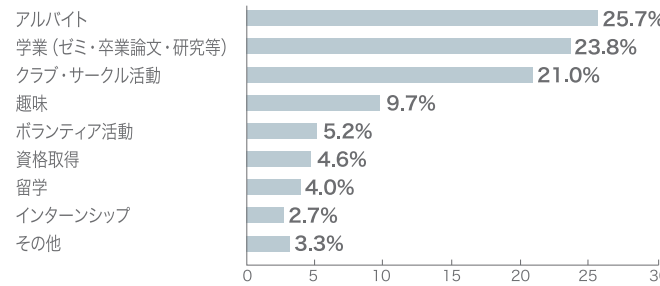
伊勢戸●学生の就職に対して、保護者の方の関心が高まっています。保護者の方に向けたアドバイスをいただけますか。

久田●就職は人生の大きなステップではありますが、人生のゴールではありません。企業に入社してからも学んで成長していくのです。どのような意志を持って、その企業で何をしたいのか。それについてよく話し合う機会を持ち、お子さまの主体性を引き出すご支援をしていただくのはいかがでしょうかと思います。

伊勢戸●本日はありがとうございました。

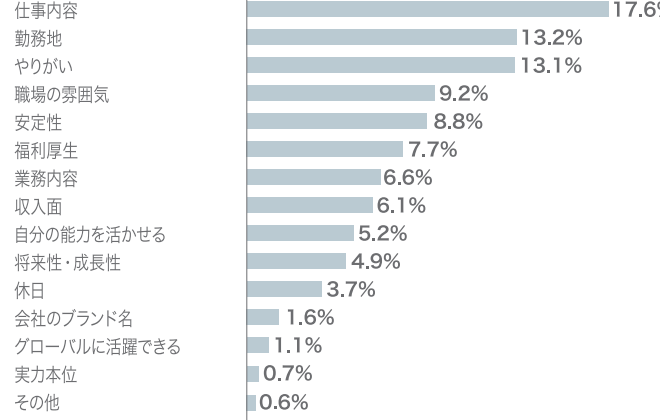
データから、就職活動のポイントを読み取る。 就職活動アンケート

採用試験時に「大学時代に力を入れたことは何ですか？」と問われた際、回答した内容は？ ※上位4つまで回答



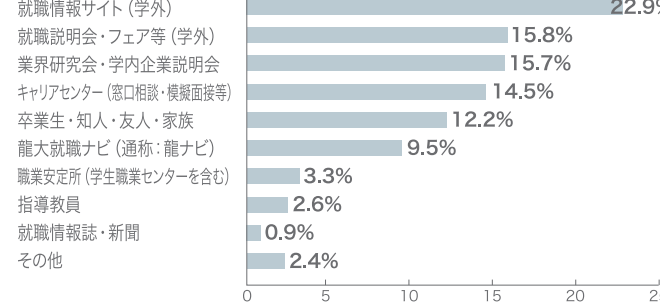
学業 (ゼミ・卒業論文・研究等)、クラブ・サークル活動、アルバイトに打ち込んだ学生が多数います。p11の先輩ケーススタディにもあるように、龍谷大学では多くの学生がチャレンジ、成長できる場を用意しています。

就職先を決定するにあたり、重視した点は何ですか？ ※上位4つまで回答



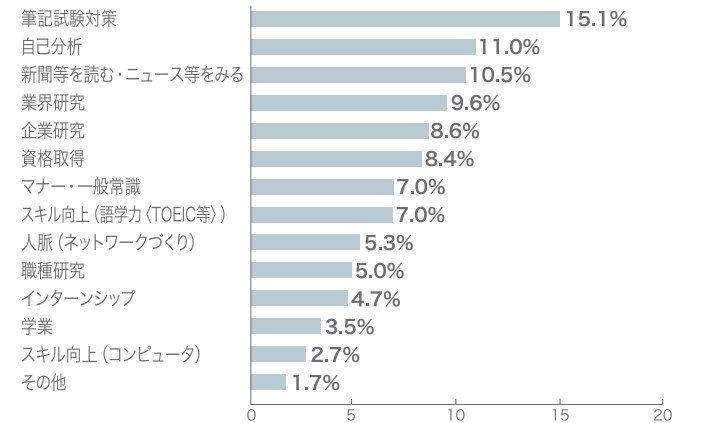
仕事内容ややりがいを重視して就職先を決定した学生が目立ちます。龍谷大学では、3年生の秋から自己分析セミナー、業界研究会、OB・OG訪問会等のサポートを行い、学生が自己を振り返り、多くの企業と出会い、自分が何をしたいのかを考えることのできる機会を多数用意しています。

就職活動をするにあたり活用したものの、役立ったものは何でしたか？ ※上位3つまで回答



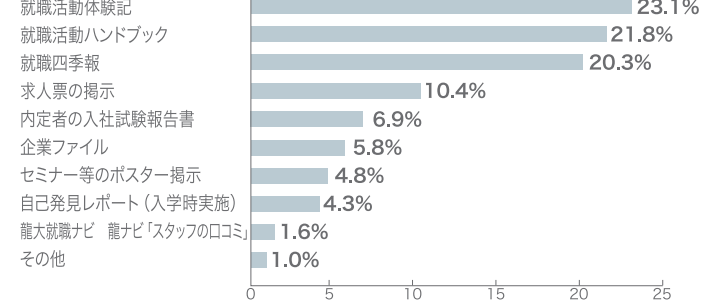
学外の就職情報サイトや説明会はもちろんですが、キャリアセンターや大学内における業界研究会、学内企業説明会が役に立ったと答えた学生が大勢います。龍谷大学の学生をぜひ採用したいということで、中には学外の就職情報サイトではなく、大学にしか求人を出さない企業もあります。就職情報サイトに加え、実際に企業と会って話を聞くなど、バランスよく情報を収集し、進路につなげていくことが大切です。

就職に向けて力を入れておけばよかったことは何でしたか？ ※上位3つまで回答



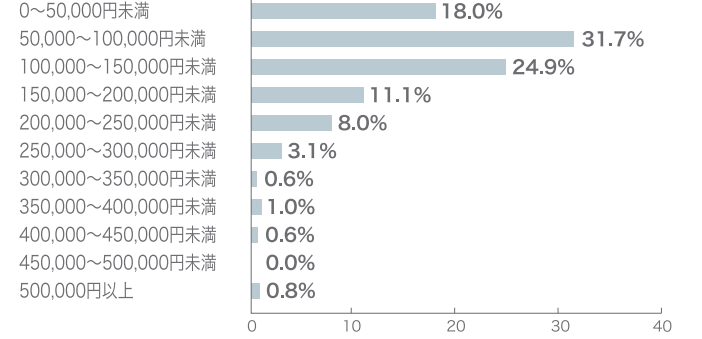
筆記試験対策に力を入れておけばよかったと思っている学生が多数います。龍谷大学では3年生の初めに行われる第1回キャリアガイダンスに筆記試験対策を組み込み、3年生秋からは模擬試験や講座を実施するなど、早くから筆記試験対策に取り組めるよう支援を強化しています。

キャリアセンターの資料で役に立ったものは何ですか？ ※上位3つまで回答



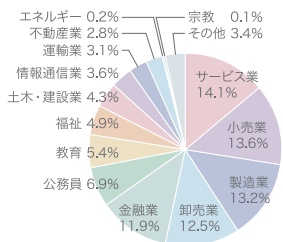
就職活動を終えた先輩の体験がウェブ上で閲覧できる就職活動体験記が、これから就職活動を迎える学生に貴重な情報源として役立っています。また、3年生の秋に実施される第2回キャリアガイダンスでは、就職活動時に気をつけたい事柄が数多く記載された、龍谷大学生のためだけの「就職活動ハンドブック」を配付しており、学生の就職活動時の必携ツールとなっています。

就職活動にかかった費用について教えてください。(おおよその金額で) ※合計金額



p15の「学生のキモチ」と「保護者のキモチ」にもありますが、就職活動を行うにあたって、交通費や宿泊費、通信費などの多くの費用がかかります。学生が精一杯、就職活動に全力を尽くせるよう、ぜひ温かい見守りと支援をお願いいたします。

文系学部



■ 土木・建設業 (4.3%)

住友林業株式会社
積水ハウス株式会社
大和ハウス工業株式会社

■ 製造業 (13.2%)

アイリスオーヤマ株式会社
エースコック株式会社
コクヨ株式会社
サッポロビール株式会社
タカスタンダード株式会社
株式会社GSユアサ
株式会社LIXIL
株式会社PHP研究所
株式会社おたへ
株式会社ツムラ
株式会社ワコール
株式会社伊藤園
株式会社河合楽器製作所
京セラ株式会社
協和発酵キリン株式会社
山崎パン株式会社
田辺三菱製薬株式会社
日本ハム食品株式会社

■ 卸売業 (12.5%)

リコージャパン株式会社
加藤産業株式会社
株式会社三洋商事
株式会社日本アクセス

■ 小売業 (13.6%)

サントリービレッジサービス株式会社
タリーズコーヒージャパン株式会社
ブックオフコーポレーション株式会社
株式会社あさひ (サイクルベースあさひ)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社そごう・西武
株式会社ダイエー
株式会社ニトリ
株式会社近鉄百貨店
株式会社高島屋
株式会社赤ちゃん本舗
株式会社平和堂
株式会社良品計画
東海キヨスク株式会社
日本トイザらス株式会社
日本マクドナルド株式会社

■ 金融業 (11.9%)

株式会社三菱東京UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社りそな銀行
株式会社京都銀行
株式会社滋賀銀行
株式会社関西西アーバン銀行
株式会社池田泉州銀行
株式会社南都銀行
株式会社紀陽銀行
株式会社三重銀行
株式会社北陸銀行
(株式会社ほくほくフィナンシャルグループ)
株式会社北國銀行
株式会社福井銀行
株式会社四国銀行
株式会社香川銀行
株式会社百十四銀行
株式会社愛媛銀行
株式会社伊予銀行
株式会社徳島銀行
株式会社高知銀行
株式会社山陰合同銀行
株式会社中国銀行
株式会社鳥取銀行
株式会社山口銀行
株式会社佐賀銀行
株式会社七十七銀行
京都中央信用金庫
京都信用金庫
大阪シティ信用金庫
尼崎信用金庫
金沢信用金庫
広島信用金庫
野村證券株式会社
大和証券株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
SMBCフロンティア証券株式会社
SMBC日興証券株式会社
みずほ証券株式会社
株式会社かんば生命保険 (日本郵政グループ)
三井住友海上火災保険株式会社
第一生命保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社

■ サービス業 (14.1%)

日本中央競馬会
ANAエアポートサービス株式会社
ANA成田エアポートサービス株式会社
トップツアー株式会社
株式会社JTB関西
株式会社JTB関東
株式会社JTB西日本
株式会社日本旅行
株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社NTTマーケティングアクト
株式会社ホテルグランヴィア大阪
株式会社ホテルマネジメント ホテル日航奈良
株式会社博報堂アイ・スタジオ
株式会社堀場テクノサービス
高見株式会社
日本赤十字社 京都第二赤十字病院
日本赤十字社 大津赤十字病院
日本年金機構
日本郵便株式会社 (日本郵政グループ)

■ 情報通信業 (3.6%)

朝日放送株式会社
NECソフト株式会社
トランスコスモス株式会社
株式会社NTTデータ関西
株式会社マイナビ

■ 教育 (5.4%)

京都府教育委員会
大阪府教育委員会
滋賀県教育委員会
兵庫県教育委員会
奈良県教育委員会
神奈川県教育委員会
堺市教育委員会
公立大学法人和歌山県立医科大学
学校法人同志社
学校法人龍谷大学

■ 公務員 (6.9%)

法務教官
京都府検察庁
名古屋地方検察庁
皇宮護衛官
国税専門官
東京税関
京都府庁
大阪府庁
滋賀県庁
兵庫県庁
和歌山県庁
石川県庁
岐阜県庁
広島県庁
京都市役所
大阪市役所
宇治市役所
大津市役所
近江八幡市役所
奈良市役所
名古屋市役所
鳥取市役所
京都府警察
鳥取県警察
東京消防庁

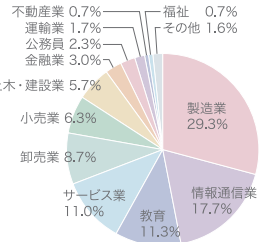
■ 運輸業 (3.1%)

ANA関西空港株式会社
ANA大阪空港株式会社
株式会社JALスカイ
株式会社ジェイアール西日本マルニックス
株式会社近鉄エクスプレス
京王電鉄株式会社
近畿日本鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)
東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)
東日本旅客鉄道株式会社

■ エネルギー (0.2%)

大阪瓦斯株式会社 (大阪ガス)
岡山瓦斯株式会社

理工学部



■ 土木・建設業 (5.7%)

ダイダイン株式会社
株式会社きんでん
大和ハウス工業株式会社

■ 製造業 (29.3%)

CKD株式会社
KYB株式会社
サンコール株式会社
スタンレー電気株式会社
株式会社GSユアサ
株式会社ジーテクト
株式会社ダイアック
株式会社ユージン精機
株式会社ワコール
象印マホービン株式会社
新明和工業株式会社
日本トムソン株式会社
福島工業株式会社
アイシン精機株式会社

■ 卸売業 (8.7%)

因幡電機産業株式会社
株式会社京セラソーラーコーポレーション
株式会社三笑堂

■ 小売業 (6.3%)

株式会社良品計画

■ 金融業 (3.0%)

株式会社京都銀行
京都信用金庫
日本郵政株式会社 (日本郵政グループ)

■ 運輸業 (1.7%)

西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)
近畿日本鉄道株式会社

■ サービス業 (11.0%)

アルインコ株式会社
株式会社東レリサーチセンター
三菱電機ビルテクノサービス株式会社
大和リース株式会社

■ 情報通信業 (17.7%)

NTTソフトウェア株式会社
サントリースステムテクノロジ株式会社
株式会社DTS
株式会社NTTデータ関西
株式会社サイバーエージェント
株式会社富士通エフサス
日本電子計算株式会社

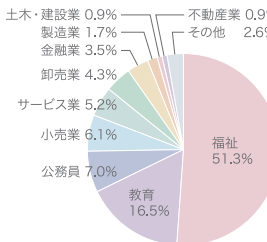
■ 教育 (11.3%)

京都府教育委員会
大阪府教育委員会
滋賀県教育委員会

■ 公務員 (2.3%)

長浜市役所
滋賀県警察
大阪府警察
京都市消防

短期大学部



■ 卸売業 (4.3%)

株式会社三笑堂
大富鋼材株式会社

■ 小売業 (6.1%)

株式会社コメダ
株式会社丸井

■ 金融業 (3.5%)

株式会社京都銀行
滋賀県信用農業協同組合連合会
第一生命保険株式会社

■ サービス業 (5.2%)

財団法人新田塚医療福祉センター 福井総合病院

■ 福祉 (51.3%)

医療法人社団洛和会 洛和会ヘルスケアシステム
社会福祉法人フジの会
社会福祉法人みおつくし福祉会
社会福祉法人宇治福祉園
社会福祉法人関西福祉会
社会福祉法人京都老人福祉協会
社会福祉法人四天王寺福祉事業団
社会福祉法人隆生福祉会

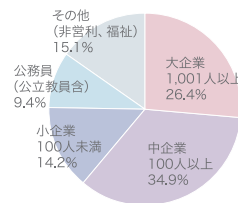
■ 教育 (16.5%)

京都府教育委員会
学校法人永観堂学園 永観堂幼稚園
学校法人秀英学園 光徳幼稚園
学校法人洛陽総合学院 洛陽幼稚園
社会福祉法人天正寺福祉事業団
社会福祉法人隆生福祉会

■ 公務員 (7.0%)

栗東市役所
甲賀市役所
長浜市役所
東近江市役所
米原市役所

大学・短期大学部
進路規模別データ



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

キャリアセンター 深草
〒612-8577
京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-7878 (直通)
Fax 075-645-5556

キャリアセンター 瀬田
〒520-2194
大津市瀬田大江町横谷1-5
Tel 077-543-7735 (直通)
Fax 077-543-7780

大阪梅田キャンパス
大阪駅前橋口から徒歩4分
〒530-0001
大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階
Tel 06-6344-0218
Fax 06-6344-0261

東京オフィス
東京駅丸の内南口から徒歩5分
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-2-1
岸本ビルディング11階
Tel 03-3201-2751
Fax 03-3201-2778